

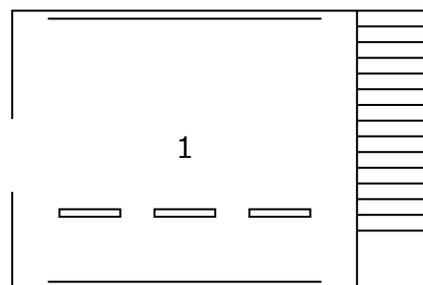


**1 小川 敦生 Atsuo Ogawa** オービックビル

**1 ghost catcher**

2019

窓、鏡、アクリル板に、チョークマーカー、サインペンでドローイング



**2 柴田 純椰 Junya Shibata** 旧松浦スポーツ店  
〔キュレーター 結城 鷹〕

**1 《Sleeping Dog》**

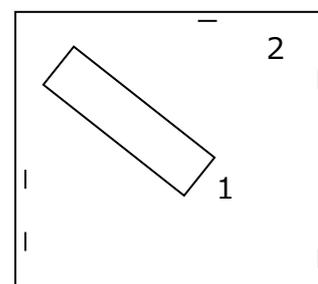
2019

シングルチャンネル・ビデオ、カラー、サウンド、ループ  
17'01"

**2 《Untitled》 シリーズより 5 点**

2019

紙にインク、または鉛筆



**3 横井山 泰 Yasushi Yokoiyama** 旧瀬戸米穀店

**1 おだわら行列**

2019

3,636×2,273 mm Acrylic on Canvas

**2 将軍**

2016

910×910mm Acrylic on Canvas

**3 午睡**

2019

410×410mm Oil on Canvas

**4 迷惑なはなし**

2003

1,455×1,120mm Oil on Canvas

**5 誰かいる**

2003

1,455×1,120mm Oil on Canvas

**おめん**

Acrylic on Clay

**A 赤兎馬**

**B 人気物**

**C イカ**

**D 古猫**

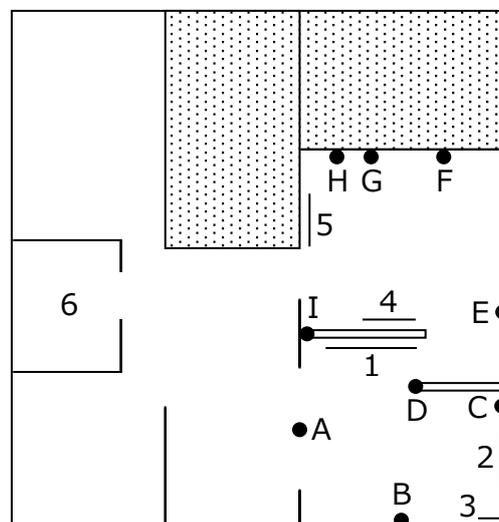
**E キャラメル**

**F 酔象**

**G 月光**

**H 微笑**

**I 内侍**



**4 m.yam clayworks** 旧瀬戸米穀店

**6 陶と文章**

2019

陶、紙

## **小川 敦生 Atsuo Ogawa**

1969年 神奈川県生まれ 神奈川県在住。

手で描くことに拘りながらも、まるで線が勝手向かうところに任せて…反復、逸脱、展開…描き編むドローイング作家。一本の線から成る輪として完成するドローイングは一種文様めいて、平面に限らず折々の機会に応え、様々な素材、媒体の上を走っています。

### 主な展覧会

- 1999年 「ONE DAY ONE SHOW」 FREE SPACE 3 (東京)
- 2001年 個展「POOL」 OFF SITE (東京)
- 2003年 個展「Rendezvous」 OFF SITE (東京)
- 2005年 「VOCA 2005」 上野の森美術館 (東京)  
「WRITING line & LIGHTING line」 川崎市市民ミュージアム (神奈川)
- 2008年 個展「fenomeno」 WABI-SABI (ミラノ)
- 2010年 「MOT アニュアル 2010 装飾」 東京都現代美術館 (東京)  
個展「Miroir」 TRAUMARIS (東京)
- 2011年 「岡野屋旅館プロジェクト 2011」 岡野屋旅館 (岡山)
- 2012年 個展「animation」 ベイスギャラリー (東京)
- 2014年 個展「exit / enter」 20202 (東京)
- 2016年 個展「役に立たない回路」 Hideharu Fukasaku Gallery Roppongi (東京)  
個展「巢の建築」 Art & Space ここから (東京)
- 2017年 「間の構造 -虚空をよみとる-」 岩崎ミュージアム・ギャラリー (神奈川)

## **柴田 純椰 Junya Shibata**

1994年東京都生まれ。2018年多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業。

廃墟や樹海のような人が関わりを持たない場所やそこに漂浪する残留物たち、その一つ一つが別々の記憶を持った存在であると捉え、それらの変様の過程や記憶の所在点、物質と記憶の結びつき方などを主題にして自身の表現を展開。また最近では周囲の環境や変化する感情など自身を取り巻く諸現象と主体的表現の連続性を、日々のルーチンワークとしてのドローイング行為で切り取ることによって顕在化を試みている。今回の展示では結城鷹がキュレーションを担当。

### 主な個展

- 2018年 『GUM』 マジエルカギャラリー (吉祥寺)

### グループ展

- 2015年 『六大学合同写真展 まる展』 多摩美術大学他
- 2016年 『INITIATION2016』 Café てい〜えむ (中野)
- 2017年 『This looks a bit like an elephant』 White gallery (千駄木)  
『アートで冒険ラボランド』 アートラボはしもと
- 2018年 『東京五美術大学連合卒業・修了制作展』 国立新美術館  
『多摩美術大学美術学部卒業制作展』 多摩美術大学

## **結城 鷹 Yo Yuki**

1995年東京都生まれ。多摩美術大学在学中には作品制作を行いながら様々な現代美術の展示の現場を経験。卒業後にはKAAT 神奈川芸術劇場『さわひらき 潜像の語り手』(2018)、『小金沢健人 Naked Theatre -裸の劇場-』(2019)のキュレーターアシスタントを務めた。昨年のおだわら城町アートプロジェクト『鈴木泰人 空の光』にも同アシスタントとして参加。

## **横井山 泰 Yasushi Yokoiyama**

1976年 静岡県伊豆の国市生まれ

2001年 多摩美術大学美術学部絵画科油画専攻卒業

2003年 多摩美術大学大学院美術研究科油画専攻修了

2003年 「TAMA・デ・アート」奨励賞

2004年 「第7回岡本太郎記念現代芸術大賞展」特別賞

2005年 「シェル美術賞 2005」本江邦夫審査員奨励賞

2010年 文化庁新進芸術家海外研修員としてパリに滞在（～2011年）

小田原市在住。

### 主な個展

NICHE GALLERY（東京）2004、05、09、10、12、13、15、17年

ギャラリー新九郎（神奈川）2006～10、13、14、15、17、18年

遊工房 Art Space（東京）2004、06年

さんしんギャラリー善（静岡）2014年

Gallery エクリュの森（静岡）2014、16年

### 主なグループ展

2001年 「ウエボス ヌエボス」（銀座三越美術ギャラリー／東京）

2003年 「TAMA・デ・アート」（パルテノン多摩／東京）

2004年 「第7回岡本太郎記念現代芸術大賞展」（川崎市岡本太郎美術館／神奈川）

2005年 「シェル美術賞 2005」（代官山ヒルサイドフォーラム／東京）

2006年 「百花繚乱」（BOICE PLANNING/神奈川）

2007年 「上海芸博会青年芸術家推介展」（Shanghai MART/上海、中華人民共和国）

「放飛新視界 日本当代絵画展」（PYO GALLERY BEIJING/北京、中華人民共和国）

2008年 「TARO 賞の作家 I」（川崎市岡本太郎美術館/神奈川）

2009年 「おかえり アーティスト ただいま展」（相模原市民ギャラリー/神奈川）

2012年 「第31回損保ジャパン美術財団選抜奨励展」（損保ジャパン日本興亜東郷青児美術館／東京）

2013年 「FACE 展 損保ジャパン日本興亜美術賞展」（損保ジャパン日本興亜東郷青児美術館／東京）、14年

2015年 「アートフェア東京」 Gallery エクリュの森（東京国際フォーラム／東京）

2016年 「ART NAGOYA」 Gallery エクリュの森（ウェンストンナゴヤキャッスル／愛知）

2018年 「Spring」 Allme Artspace（ソウル／大韓民国）

## m.yam clayworks

1968年 大阪市阿倍野区生まれ

1986年 上京し、映像、デザインを学び、編集プロダクションに勤務。グラフィックデザイン、イラストレーターとして雑誌のカットや4コママンガなど担当。小林三千夫氏に師事。

2000年 「m.yam clayworks」として独立。設窯。

### 陶歴（個展のみ）

1999年 「mom&CREATURE」 ギャラリーES(表参道)、「newest life」 ギャラリーES(表参道)

2000年 「a manhole midnight three」 新樹画廊(目白)、「EROSion&canary」 ギャラリー遊庵(奈良)

2001年 「purity Evil」 遊びのギャラリー(松屋銀座)

2002年 「horned sorrows」 遊びのギャラリー(松屋銀座)

2003年 「おわりのつづき」 PIGA 画廊(外苑前)

2004年 「newest rule」 遊びのギャラリー(松屋銀座)

2005年 「brightside of life」 遊びのギャラリー(松屋銀座)、「midnight affair」 ギャラリーKOYODO(大阪)

2006年 「雫を拾う」 遊びのギャラリー(松屋銀座)

2007年 「青春」 ギャラリーKOYODO(大阪)

2008年 「だれかの窓」 遊びのギャラリー(松屋銀座)

2009年 「液体とケムリ」 ギャラリー銀座一丁目(銀座)

2010年 「unseen affair」 遊びのギャラリー(松屋銀座)

2011年 「生活」 巷房(銀座 奥野ビル)、「生活2」 百想(吉祥寺)

2012年 「inside view」 アートスペース(近鉄百貨店 阿倍野)

2013年 「folklore」 遊びのギャラリー(松屋銀座)

2015年 「空洞」 遊びのギャラリー (松屋銀座)、「bleeding daughter」 ギャラリー澄光 (奥沢)

2017年 「でたらめなものさし」 遊びのギャラリー (松屋銀座)、

「Independent 東京」 入選 (NY Ashok Jain Gallery 展示参加)

2018年 「東の間この身体にありて」 壺中天 (伊豆高原)、「その蝶番の弱き軋み声より」 (松屋銀座)